“次代”のための我ら旭川の集まり

Vol.40

東京旭川会
会報
なかまど

第40号：令和２年（2020）３月29日発行
発　　行：東京旭川会　〒359-0041
埼玉県所沢市中新井4-24-3
（高木宏明）
TEL／FAX：042-942-8455
e-mail：asahikawakai_tokyo@yahoo.co.jp
編　　集：東京旭川会広報チーム

＊【予告】本年度第44回の総会・懇親会は、10月24日（土）午後5時からの予定です。

第43回東京旭川会総会・懇親会のご報告

2019年10月26日(土）午後5時より、ハイアット・リージェンシー東京で開催されました。出席者は会員107名、来賓・協賛関係23名、合計130名でした。

▲柏葉健一旭川観光コンベション協会副会長の締めの言葉で今回の総会・懇親会もお開きに。また再会を誓い合った楽しい一日になりました。

10月26日（土）17時より、ハイアットリージェンシー東京『桃山』で第43回総会・懇親会を開催しました。

総会では、平成30年の事業報告・決算報告、会計監査、令和元年の事業計画・予算が承認されました。

引き続き、旭川出身でがんのエキスパート、がん研究会有明病院の山口俊晴名誉院長（西高17期）をお招きしてお話を伺いました。

2人に1人はがんになる時代ですので、正しくがんを理解することを目的とした『分かりやすくて、おもしろく、そしてためになる最新のがんの知識』と題し大変わかりやすい講演でした。（4～5頁をご参照）

懇親会は、西川市長、佐々木隆弘衆議院議員はじめ、旭川市議会 安田佳正議長、旭川商工会議所、旭川観光コンベンション協会、旭川市、岩田公雄様他旭川観光大使の皆さん、協賛企業他来賓の皆様、初参加の方々を含めて130人の方々の参加を得て、安田様の乾杯のご発声ではじまりました。

山口浩一 旭川市税務部長から「ふるさと納税」について、林良和DMO担当部長から「旭川の観光について」、近藤浩 北海道新聞社編集長から「道外での電子版発売」についてお話がありました。（6頁をご参照）

前回に引き続き「私（達）こんな活動をしています。」コーナーで壇上から3組の方々、佐藤みきさん（イラストレーター、画家）、原田和典さん（音楽ジャーナリスト）、岡本和己さん（お笑い）に発表して頂きました。

恒例の大抽選会など大いに楽しんでいただき盛況の内に終了することができました。

次回も多くの皆さまの参加をお待ちします。

〈会長挨拶〉

東京旭川会会長
加藤桂子

東京旭川会では「ふるさとに出会える」を合言葉に様々な活動を行っています。

その様子を「なかまど」にまとめ、会員の他、関係各所へ配布してきました。

今回は、第40号となる節目を迎えることになりました。長く発行に関わってきた者として感慨一入です。紙面は年一度開催の総会・懇親会の模様がつぶさに網羅され、参加が叶わない方にも分かりやすく作られています。

今号は、誰にも関心があるガンについて旭川ご出身のがん研究会有明病院名誉院長山口俊晴先生のご講演の内容を掲載しました。

先生の軽妙な語り口のおかげで難しい病気の話もすっと頭に入ったと好評でした。

会場内には「壁新聞」が毎年作成され、こちらも会員各位の活躍ぶりが分かりやすく纏められています。そのほか、旭川市の最新ニュースを取り上げていますので、今の旭川が理解できます。

一方、昨年9月には「若い躍動が郷土と旭川会を元気に！」を掲げて次世代への継承を考え、ホームページをリニューアルしました。双方向で様々な情報を提供し交流の場となることを期待しています。さらに充実させていきたいと考えて居ります。

皆さまのご協力をいただければ幸いです。

第43回総会・懇親会

今年も懐かしい顔と顔が集いました。

旭川の懐かしさと新しい躍動に触れる、東京旭川会総会・懇親会。
令和最初の今回の集いも、参加された多くの方に楽しんで頂けたかと思います。
紙面で改めて当日の様子をお伝えします。再度お楽しみください！

▲先ずは壁新聞が皆さんをご案内です。

▲安田佳正旭川市議会議長

▲西川将人旭川市長

▲林良和　大雪カムイミンタラDMO専務理事

▲山口浩一旭川市税務部長

▲お礼の挨拶　山口哲男　東京旭川会副会長

▲柏葉健一　旭川観光コンベション協会副会長

▲荒川繁東京旭川会副会長の司会進行で始まった講演会。山口俊晴有明病院名誉院長のお話しはとても分かりやすく、大変好評でした。

◀山口俊晴　公益財団法人がん研究会有明病院名誉院長

▲講演会司会　荒川繁東京旭川会副会長

▼会場の壁新聞では、朝妻久実さん、西本夏生さん、武藤大輔・亮太さん、本田蒼風さん、門馬瑠依さん、水奈月順子さん、松田広昭さん、品田誠さん三好のぶちかさんを紹介しました。

▲TVでお馴染みの岩田公雄さんに今年も駆けつけて来て頂きました。

▲市長も気さくに歓談の輪の中に。

▲立ち飲みコーナーもすっかりお馴染みに。お陰で歓談も弾みます!

▲今年も旭川ラーメンコーナーで舌つづみを。

▲ホテル自慢の料理がさらに会話を楽しくしてくれます。

大抽選会

▲髙橋照美東京旭川会前会長も当選（ササキ工芸の木工品）してこの笑み。

▲いきなり三井役員が賞品（旭山動物園のぬいぐるみ）をゲット。

▲お待ちかねの大抽選会のスタートです！

▲あっという間の3時間。皆さん、お土産袋をお持ち帰りです。来年もお待ちしております！

▲旭川ラーメンなどお楽しみがいっぱいです。さあ～、どう持って帰ろう？

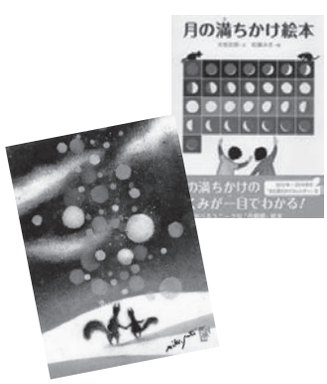
▲これで聞き逃しはありません。抽選番号をボードに書く東出康宏広報担当

私（達）こんな活動をしています！

ふるさと旭川は多くの才能を育み、その才能たちは、日本中に、いや世界中に羽ばたかんとしています。彼らの活躍は、故郷から多くのエールをもらい、又故郷の若者に大きな勇気を与えています。色々なことに挑戦されている方がいること、その活動を知ることは、皆さんが勇気をもらい、ふるさとにエールを送ることにつながるのではないでしょうか。今回は、以下の3人の方々にステージ）から発表して頂きました

●佐藤みきさん
（イラストレーター・画家）

週刊文春　林真理子「今宵もひとりよがり」「今夜も思い出し笑い」の挿絵、新聞小説（地方紙）あさのあつこ「かんかん橋を渡ったら」「かんかん橋の向こう側」の挿絵、「月の満ちかけ絵本」あすなろ書房。毎年、旭川、札幌、東京で個展をしており、最近は海外のアートフェアにも参加しています。
1954年11月6日生まれ。北海道旭川市出身。



●原田和典さん
（音楽ジャーナリスト）

19歳でジャズ雑誌の編集に携わってから、ちょうど30年の昨年、スペースシャワーブックスから刊行した著書『コテコテ・サウンド・マシーン』はアマゾン（通販サイト）予約チャートのワールド・ミュージック部門で1位を記録。発売後は好調なセールスを続けています。7月には世界一の権威を持つアメリカのジャズ雑誌

「ダウンビート」（1934年創刊）の「国際批評家投票」メンバーに選出されました。昨年の夏、出身地の北海道で本の存在と音楽の素晴らしさを広めるため活動開始。8月には、ジュンク堂書店旭川店でトークショーを実施しました。現在、音楽記者（執筆、取材、撮影、トーク等）。数千のCDライナーノーツ（解説）で活躍中です。

●岡本知己さん
（お笑い芸人）

小学校、中学校では生徒会長、高校ではサッカー部に所属し、高校卒業と同時に上京後お笑い芸人としてのキャリアをスタートさせました。人間のちょっとしたスキマを描写したコントで「エンタの神様」、「爆笑レッドカーペット」、「爆笑オンエアバトル」、「笑っていいとも」、「王様のブランチ」などに出演。只今コンビの結成、解散を経て現在1人で活動中ですが、最近はお笑いだけではなく、舞台、ドラマ、映画、司会業、などへも活動の場を広げています。と同時に地元旭川を広める為、旭川観光大使を目指してます。
1981年2月15日生まれ
旭川西高校卒業。

講演

『分かりやすくて、おもしろく、そしてためになる最新のがんの知識』

第43回総会では、旭川出身でがんのエキスパートがん研究会有明病院の山口俊晴名誉院長（西高17期）をお招きして、お話を伺いました。今や2人に1人はがんになる時代です。大変わかりやすいお話で正しくがんを理解することができました。講演の要旨は以下のとおりです。

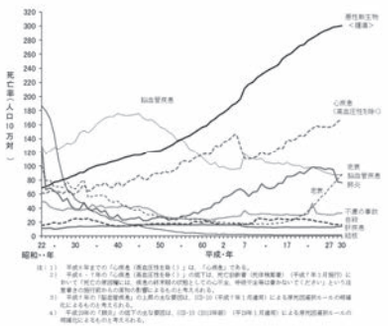
本日は東京旭川会にお招き　頂き有難うございます。

〈〈がん全般について〉〉

昔からこんなにがんが多かった訳ではありません。がんが激増したのは戦後からです。それまでの死因のトップは結核でしたが、結核がトップでなくなったのは、薬が開発されただけでなく栄養状態・衛生環境が良くなったからです。

今や2人に1人はがんになり、3人に1人はがんで亡くなる時代になりました。その理由は、長生きになったからです。がんは、特別な病気でなくて老化の一環で人生の一部なのです。昔、がんの専門病院は特殊な分野でしたが、今では多くの一般の病院でがんの治療が行われています。がんは、自然の摂理ですが、適切に治療すれば治るものも沢山あります。

主な死因別に見た死亡率（人口10万対）の年次推移



〈〈男女の差について〉〉

男性はがんになりやすい。その差が男女の寿命の差につながっています。特に顕著なのは、食道がんです。食道がんには女性はほとんどなっていません。肺がんも男性が圧倒的に多く、男女の差がないがんと差が大きながんがあります。

しかし、がんになったからと言って必ずしも亡くなる訳でありません。女性には乳がんが多いと言われていますが、女性のがんで命に関わるのは胃がんと大腸がんです。皆さんは検便をちゃんとして大腸の検査をしなくてはなりません。女性は恥ずかしがってお尻の検査を受けず、そういうことで命を失うことが多い可能性があります。

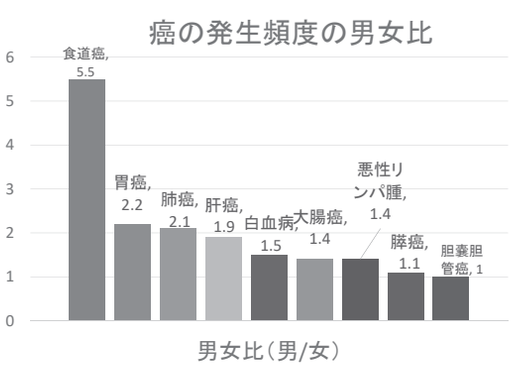
男性の前立腺がんも多いけれど、亡くなる人は非常に少なく、歳とともにできる病気で多くの場合には命と関係の無い病気です。

極めて悪性の膵臓がんからおおむね助かる乳がん・前立腺がんまで色々ながんがあることを知ってください。がんと言われても慌てないことです。がんの術後5年間の生存率はがん種によって違います。一番低いのは9．2％の膵臓がんです。一方、よく助かっているのは、前立腺がんや乳がんです。

直腸がん、子宮頸がんと胃がんは術後5年間の生存率は75％です。亡くなるのは4人に1人です。進行がんは5割ぐらいしか助かりませんが、早期がんはほとんど助かります。一方、肺がんや食道がんはなかなか厳しい病気です。

私が卒業した昭和48年頃には、胃がんや大腸がんの術後の5年生存率は20～30％でしたが、この40年くらいの間に非常に良くなりました。ですから膵臓がんだってそのうち良くなる可能性があります。がんと言われてもがんによって治りやすさが全然違うと言うことをしっかりと理解してください。

男女の差が一番大きながんは食道がんです。男性の方が女性の5．5倍多いです。胃がん、肺がん、肝臓がんは2倍です。肝臓がんは酒の飲みすぎと言われています。膵臓がんとか胆嚢がんは男女の差はありません。肺がんや食道がんはタバコに関係あると推測できます。特に（体の）上の方のがん、喉頭がんとか食道がんはタバコの影響があると推測できます。



男女の寿命の差は、昔はそれほど大きくなかったけれど、2009年には約7歳近くになりました。男性の方が7年位先に死ぬのです。しかし、最近は少し縮まりました。

男女差は、明治の始めの頃は1歳位しかなかったけれど、差が出てきたのは第二次世界大戦以降です。何があったかというとタバコです。昔タバコは贅沢品でした。軍隊ではタバコが支給されていましたが、戦争が終わってからもタバコの消費量は一環として増えました。

幸いなことに、65年当時は82％あった男性の喫煙率は、2015年には30％を切りました。男性の喫煙率が下がったことが、男女の寿命の差が縮まった原因と思います。

〈〈身の回りの発がん因子〉〉

私が入学した当時、親友10人のうち7人が喫煙者でしたが、40年後の今では喫煙者の5人が死亡しています。タバコはがんだけでなく、血管がやられるので心筋梗塞、脳梗塞のもとです。良いことは一つもありません。

我々の周りには、たくさんの発がん因子があります。放射線とか紫外線、熱の刺激、最近注目されているのは色々な感染です。ウィルスでできる肝臓がん、女性の子宮頸がん、胃がんのピロリ菌・・こういうことが段々解ってきました。

世の中に発がん物質は色々ありますが、最初に判ったのは煙突掃除夫に陰嚢にがんの多いこと、そしてその原因が煤であることです。これを発見したのは英国の医者です。

アスベストは怖いと言われていますが、石綿の危険率は非暴露者の5倍な

のに対して、喫煙者の危険率は非喫煙者の10倍です。石綿が怖いと言いながらタバコを吸う人はおかしいです。喫煙者でアスベスト被爆者の危険率は53.24倍です。石綿に注意する以上に、タバコに注意しなければなりません。日本はタバコに寛容ですが、東南アジアはじめ海外のタバコのパッケージには喫煙は健康に悪いと警告する色々な絵が書かれています。

発がん物質について日本人は良い仕事をしています。世界初の人工発がんは、ウサギの耳にコールタールを塗った山際勝三郎、市川厚一先生によります。しかし世界では評価されませんでした。一方、デンマークのフィビガー博士のがん寄生虫説がノーベル賞を受賞するなどノーベル賞も昔は間違ったものにも与えられました。

がんは長時間を経てできます。がんは発がん物質の「定期預金が満期」になってできます。「満期」には、修復能力の強い人と弱い人で個人差があります。色々な発がん物質の内、唯一止められるものはタバコです。タバコは生活必需品ではないので、明日からでも禁煙できます。

嘗ては、塩分が胃がんの遠因と考えられていましたが、最近は、ピロリ菌が胃炎の原因と言われています。ピロリ菌が胃炎を起こすので、ちょっとしたストレスで潰瘍ができて炎症を起こしやがてはがんになるのです。ピロリ菌除去後は胃がんの発生率は抑えられています（4.1%→1.4%）。ピロリ菌は、抵抗力の低い三歳ぐらいまでに親から口移しで食物を食べさせられるなどして感染します。最近では、上下水道の普及もありピロリ菌がいなくなってきています。胃がんは、将来無くなるでしょう。

〈予防が可能になってきたがん〉

日本では、子宮頸がんの予防ワクチン接種は、副作用の問題で滞っているけれど、どの専門家に聞いてもやらないといけないと言っています。子宮頸がんは、高齢者にできる子宮体がんと違い思春期にウィルスに感染することによって発生します。ワクチン接種の効果は絶大です。若いときに子宮を失うことは、子供ができなくなるし、命を失うばかりでなくその人の人生にとって重大なことです。適齢期のお嬢さんお孫さんがいたらちゃんとワクチンをやられると良いと思います。ワクチンのメリット・デメリットはありますが、近い将来そうなると思います。

予防が可能になってきたがん

がんの種類	原因、関連する因子	予防法
肺がん、喉頭がん	たばこ	禁煙
肝臓がん	ウイルス感染	ワクチン、抗ウイルス薬
子宮頸がん	ウイルス感染	ワクチン
食道がん	たばこ、酒	禁煙、禁酒
胃がん	慢性胃炎、ピロリ菌感染	ピロリ菌除菌
膀胱がん、胆道がん	職業性発がん物質暴露	暴露防止、禁煙

〈〈いつかできるがんに備えて検診〉〉

いくら注意していても、いつかできるのだから、予防は大事です。検診はやらなくてはいけません。しかし何でもかんでもやるのではなくて、検診をしたら死亡率が下がる肺がん、胃がん、大腸がん、乳がん、子宮がん・・・それが解っているから国や地方自治体が予算を付けお金を出して検診をやっているのです。効果のわかっていないというものにはお金を使うべきでないと思います。膵臓がんには早期に見つける方法は今のところありません。

日本は検診の受診率はあまり高くありません。特に女性の大腸がん検診率は低いです。胃がん、肺がんも低いです。肺がんの半分はタバコと関係ありますが、半分は関係ありません。女性で肺がんが多いのはそういう理由です。

5大がん（検診の効果のあるがん）

がん種類	対象者	回数	検診
肺がん	40歳以上 ＊50歳以上で喫煙指数（喫煙年数×たばこ本数/日）400～700以上、血痰のあった者	年1回	胸部エックス線検査 ＊喀痰細胞診
胃がん	50歳以上	2年1回	胃エックス線検査 胃内視鏡検査（+ABCリスクチェック）
大腸がん	40歳以上	年1回	便潜血検査
乳がん	40歳以上	2年に1回	マンモグラフィー
子宮がん	20歳以上	2年に1回	細胞診

乳がん検診受診率は、日本では40%です。アメリカの82%など先進国各国と比べ極めて低く、「検診は何時でもどこでもできる。」「病気になっても何時でもどこでも安く診てもらえる。」という意識があるからだと思います。子宮頸がんもそうです。

早期発見は、命が助かるばかりでなくて近年では腹腔鏡手術や内視鏡手術が進み、早く見つかれば治療も簡単です。今までどおり人生を楽しみながら過ごそうと思う人は熱心に検診に行って、早く見つけて、早く治すことを心がけてください。

〈〈癌研について〉〉

がん研究会は1908年創立された百年以上の歴史がある病院です。戦前は放射線治療で有名でした。

初代総裁は桂太郎、副総裁は渋沢栄一です。財界と政界と学会が集まって作った病院です。大塚から始まり各地を移動しましたが、2005年に今の有明に移りました。非常に大きな研究所・病院です。

有明に移るときにどういうことをやろうかと考えました。それは「チーム医療」です。がんの患者さんがあちこち行って治療するのではなくて、一人の患者さんに内科医も外科医も緩和医、看護師も集まり治療方法を話し合って決めるのです。消化器内科と消化器外科が一緒になって「消化器センター外来」を作りました。消化器センターには、胃がんに対する専門家が全員いるわけです。「この人にとってどういう治療が最適か?」ということを「治療前カンファレンス」で決めて患者さんに提示するのです。これは「患者の自己決定」に反するという考えもありますが、色々な説明をした後に患者に決めろと言うのは責任放棄です。チーム医療の良いことは、迅速にできることです。一番は透明性の確保です。このことが安全性にもつながります。私がセンター長だったときに「早い。うまい。安い。」をキャッチフレーズにしました。最近は、安全が第一になっています。がん研有明病院は、がん治療数・手術死亡率・初診待ち日数・外来待ち時間・手術待ち時間等各種データでもトップクラスの病院です。

〈〈まとめ〉〉

本日のまとめ

- 禁煙、感染（ウイルス、ピロリ菌など）防止と治療、清潔な水と空気が大事
- どんなに健康な生活をしていても、老化とともにどこかにがんができてくる
- 検診を受けよう→今治るがんで死なない
- がんには直ちに治療が必要なものと、しばらく経過を見ても良いものがある
- 病気を恐れて生活するのではなく、健康な身体をどのように使うか考えることが大事

〈〈講師紹介〉〉

山口 俊晴 先生
（やまぐち・としはる）
公益財団法人がん研究会有明病院
名誉院長

幼年期は旭川市の中心街の山口帽子店で育った。
北海道学芸大学付属小・中学校を経て
昭和42年　旭川西高等学校卒業。
昭和48年　京都府立医科大学医学部卒業。
秋田大学医学部に勤務の後、
昭和57年　米国テキサス大学へ留学。
京都府立医科大学助教授を経て、
平成13年　癌研究会附属病院（現がん研有明病院）消化器外科部長に就任。
消化器センター長、副院長を歴任し
平成27年　病院長に就任。
平成30年から現職。
専門は消化器外科（特に胃がん）
厚生労働省先進医療技術審査部会座長、
社会保障審議会医療分科会委員などを務める。
日本対がん協会常務理事、
日本臨床外科学会副会長、
外保連名誉会長、
日本胃癌学会名誉会員。
NHK「きょうの健康（くわしく知りたい胃がんの治療）」「ここが聞きたい！名医にQ」等に出演。

【お願い】
実際の講演の内容は、多くのスライドを使用した詳しいモノでしたが、紙面の都合で大幅に省略させて頂いたことをご了承ください。

旭川からの話題／旭川出身者の活躍

旭山動物園に走る絵本『旭山動物園号』の世界が再現されました

札幌と旭川を約十年間にわたって運行していたJR北海道の特急「旭山動物園号」でしたが、一昨年惜しまれながら運行を終了しました。そこで旭山動物園内に動物園号の世界観を再現するべく、クラウドファンディングで1000万円の資金調達を行うことになり昨年6月から8月の期間で実施されました。

▲「旭山動物園号ひろば」オープニングセレモニーでのテープカット

その結果、目標額をはるかに超え、昨年11月17日に園内のイベントホール一階に「旭山動物園号ひろば」としてオープンしました。ひろばには「旭山動物園号」の車内が再現され、壁一面には、あべ弘士さんが直接描いた、様々な動物が鮮やかな色合いで描かれています。

東京旭川会も構想当初からクラウドファンディングに戸惑いながら、旭川地域東京サテライトオフィスと緊密に連携し積極的に支援させていただきました。

旭山動物園の坂東園長から「伸び悩みつらい時期に背中を押していただき、最後まで頑張れました。深く感謝いたします。」とのコメントを頂きました。

▲「旭山動物園号ひろば」内の様子

三浦綾子記念文学館の分館がリニューアルオープン！

記念文学館では三浦さんの命日にあたる昨年10月12日に分館をリニューアルオープンしました。

▲分館にあるカフェ&グッズプラザ「氷点ラウンジ」のロゴです。三浦綾子記念文学館ホームページより

新しく「ヒト・コト・モノが出会う待合室」をコンセプトとした空間として「氷点ラウンジ」を設けました。カフェやグッズの販売も行っています。世界で一つだけのオーダーメイドグッズの注文やカフェでは氷点オリジナルブレンドコーヒーも楽しめます。

▲「氷点ラウンジ」の全景。三浦綾子記念文学館ホームページより

ショップでは「蔵生」や「き花」といった旭川銘菓が文学館でしか購入できないオリジナルパッケージで販売されています。どちらもデザインは旭川在住のデザイナーによるものです。

▲オリジナルパッケージの「蔵生」と「き花」。三浦綾子記念文学館ホームページより

旭川市の魅力度ランキングが上昇しています！

民間調査会社による国内1000の市区町村を対象とした「地域ブランド調査2019」による「市区町村魅力度ランキング2019」で旭川市は前年度の28位から16位に急上昇しました。また観光で行きたいところを示す「市区町村観光意欲度ランキング2019」では旭川市は昨年の25位から堂々9位とベストテンにランクインしました。

2019年 市区町村観光意欲度ランキング

順位	昨年順位	市区町村	都道府県	点数
1	1	函館市	北海道	56.6
1	2	札幌市	北海道	56.6
3	3	京都市	京都府	52.8
4	4	小樽市	北海道	49.0
5	24	箱根町	神奈川県	47.3
6	11	石垣市	沖縄県	47.1
7	8	金沢市	石川県	46.9
8	10	横浜市	神奈川県	46.6
9	6	鎌倉市	神奈川県	45.4
9	25	旭川市	北海道	45.4
11	5	富良野市	北海道	45.2
11	7	神戸市	兵庫県	45.2
13	21	宮古島市	沖縄県	45.0

▲ブランド総合研究所が行った「市区町村観光意欲度ランキング2019」。ダイヤモンドオンラインより

大雪地域の観光地域づくりを進めています

地域の稼ぐ力を引き出すとともに観光地経営の視点に立った観光地域づくりの舵取り役として設立された（一社）大雪カムイミンタラDMOは、大雪山を中心に一市七町（旭川市・鷹栖町・東神楽町・比布町・愛別町・上川町・東川町・当麻町）で構成されており、国内外の多くの方々から大雪山がもたらす四季折々の自然や食、歴史・文化、スポーツ環境等を求め幾度となく訪れたい地域として選ばれるよう、受入環境整備計画の策定や、プロモーション活動等を積極的に進めています。

大雪に強い「北海道のまん中・旭川空港」が新しくなりました

一昨年から国際線ターミナルの増設やショップエリアの改装などを進めてきていましたが、昨年の9月にフードコート「そらいち」が完成。利便性が高く楽しく過ごせる空港としてグランドオープンしました。

「そらいち」には北北海道の食を味わえるお店が並び、飲食のスペースには旭川家具が配置されています。また屋上にはジンギスカンテラスもオープンしました。

また平成30年11月には旭川空港の呼称が「北海道のまん中・旭川空港」に決まりPRロゴも作成されています。就航率が99．7％を誇っている旭川空港。北北海道の玄関口としての利用が期待されます。

▲旭川空港のロゴ。旭川市ホームページより

旭川市のふるさと納税受入額が伸びています

旭川市へのふるさと納税金額が2018年度は前年度の約2．6倍と一挙に増えました。また旭川市への応援メッセージも多数寄せられています。さらに応援が増えると良いですね。

▲旭川市ホームページより

北海道新聞が道外からもそのまま読めるようになりました

昨年9月から北海道新聞の電子版が新聞購読をしなくとも道外でも読めるようになりました。北海道全地域の紙面が閲覧できますので、旭川地域の話題や道内のその他の地域の話題も速やかに読むことができます。関心のある方は北海道新聞電子版のホームページを参照してみてください。

旭川大学高校野球部 二年連続 甲子園出場 準優勝の星稜に惜敗

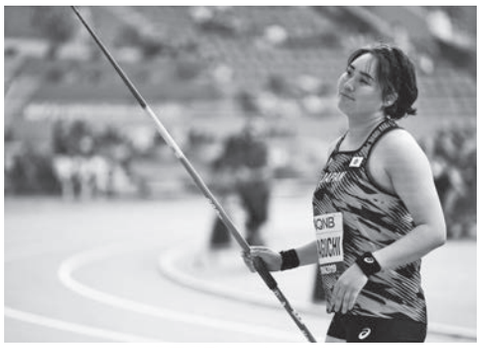
二年連続九回目の出場となった夏の甲子園。大会二日目第三試合で強豪石川県代表星稜高校と対戦しました。二回表に一点先行されましたが、その後は堅い守りでしっかりとゼロ点で抑え、いよいよ九回裏の攻撃へ。いい当たりを連発しましたが残念ながらヒットとはならず無念の試合終了となりました。しかし、準優勝校を相手に堂々の試合展開を披露。全国トップレベルの実力を備えてきていることを証明してくれました。

▲旭大高の健闘を示すスコアボード
『旭大高球児たちの甲子園19夏　チーム初2年連続甲子園熱闘の軌跡』より　㈱北のまち新聞社 提供

旭川東校出身 やり投げ北口榛花選手 日本記録を続々更新

旭川東高校を卒業後、日本大学に進学しているやり投げの北口選手。昨年5月の木南道孝記念陸上競技対抗選手権大会でこれまでの記録を56CM上回る64M36を投げ、日本新記録を更新しました。

さらに昨年10月に行われた北九州陸上カーニバルでは自身が5月に樹立した記録を大幅に更新する66Mを投げ、今季二度目となる日本新記録を樹立しました。


▲北口選手のツイッターより

北口選手はチェコのコーチに交渉し昨年2月に約一か月間単身でチェコに出かけ修行。その成果があらわれた形となりました。また昨年12月には「日本陸連アスレティックス・アワード2019」において日本グランプリシリーズチャンピオンとして表彰されました。

東京オリンピックへの出場、そしてメダルの獲得が期待されます。皆さんで大いに応援しましょう。

プロ野球 日ハム 玉井大翔投手は旭川実業高校出身です。

日本ハムの背番号「54」の玉井選手。2016年ドラフトで日ハムに入団しました。

▲日本ハム選手名鑑より

2019年度シーズンでは65試合に登板し、2勝3敗11ホールドの成績でした。入団以降毎年登板回数を増やしており今年度の活躍が大いに期待されます。

旭川西高校出身の画家 畠山昌子さん

1988年に女子美術短期大学絵画専攻科修了。「第68回 春陽展」に初入選以来、春陽展での発表を中心に個展・グループ展を重ねています。「第91回 春陽展」では損保ジャパン美術財団賞、「第93回 春陽展」にて中川一政賞を受賞。

▲畠山さんと作品　東京都美術館主催「都美セレクション 新鋭美術家 2017」にて

2017年に東京都美術館主催の「都美セレクション 新鋭美術家 2017」に出展。

近年は台北、香港などのアートフェアにも出展しグローバルに活動範囲を広げています。ご本人からは「光を媒介として人の記憶や気配を感じる作品を作りたいと思っています。」とのコメントを頂きました。

東京旭川会の活動を報告します

東京旭川会では会員相互の懇親を深めることを目的に様々な活動を行っています。今年は郷土訪問の旅などの活動を予定していますので多くの皆様の参加をお待ちしています。お問い合わせは事務局までお願いします。

●新しいホームページを開設しました

新ホームページは、次のとおり『旭川』を軸とした交流の場を提供しています。

①旭川や東京でのイベント情報
②会員からのお知らせ
③東京にある旭川関係者のお店紹介
④旭川出身者の活躍
⑤旭川のお店や企業から東京に向けてのメッセージ
⑥東京旭川会の紹介や総会・懇親会、郷土訪問などの活動紹介
⑦会報誌「ななかまど」のバックナンバー　など。

ホームページへは右のQRコードからアクセスできます。

▲東京旭川会ホームページのホーム画面
https://www.asahikawakai-tokyo.jp/

つきましては、いろいろな分野で活躍している首都圏在住の旭川出身者のご紹介、東京にお店を出されている方はお店のPR、協賛いただいている皆様にはお店や商品の東京に向けたPR、市及び関係団体の皆様からはイベント等の情報提供をいただければ幸いです。ご不明の点がありましたら、事務局までお問い合わせください。

●旭川人アーティストライブ『A Dream Session ★2019』を応援

昨年11月23日、旭川出身の若手のアーティスト達が一堂に集ういライブがあり応援してきました。以下は、その際に主催者から寄せられたメッセージです。

『北海道旭川市は多くの文化人、芸術家を誕生させた文化芸術都市です。今回は、最高のパフォーマンスを披露する旭川人アーティストライブの四回目でした。無事大盛況で幕を閉じました。五組の旭川人アーティスト達が集結。素晴らしい音楽と旭川愛を届けました。お笑い芸人のあふろ佐々木さんのMCも大評判でした！

▲御茶ノ水のライブハウス
KAKADOに集った出演者たち。
blog「旭川美都」より

来場頂いた皆様、生中継をご覧になった皆様、応援して頂いた東京旭川会の皆様、有難うございました。』

●旭川市のアンテナショップが残念ながら閉鎖しました

5年前に新宿イーストサイドスクエアのローソンにオープンし、多くの旭川関係者に親しまれ、東京旭川会も応援してきたアンテナショップが残念ながら昨年8月10日をもって閉鎖となりました。最終日には今までの感謝を込めて「THANK YOUまつり」が行われ大勢の方が訪れました。

▲最終日の店内での一コマ

その後も、店内には小さいながらも旭川の棚が置かれていますので覗いてみてください。

東京旭川会第43回総会・懇親会 出席者一覧（五十音順）

【出席者】❖は旭川観光大使の方です。（敬称略）

あ
朝妻 久美❖
朝比奈 康博❖
荒川 繁
砂澤 祐子
石田 千秋
岩田 公雄❖
梅津 博司
海老澤 美智子
遠藤 哲
大平 和幸
岡崎 江里子
岡崎 友典❖
岡本 知己
尾崎 千恵子
小田原 一史
小野 静香
折登 紀昭
柿林 博司
片桐 紀恵
加藤 桂子❖
加藤 秀平
加藤 文哉
金子 登
加茂 正巳
河合 博
川端下 ヨシミ
菊地 勝昭
菊地 昌男
木嵜 秀夫
木島 英人
北本 淳
國枝 郁子
窪田 敬昭
小澤 直子
小林 信雄
小林 良正
小松 仁志
合田 義範
近野 光佑
佐川 正博
佐坂 秀俊
佐々木 隆博
佐藤 邦弘
佐藤 みき
左宮 弥佳
佐藤 幸博
澤口 幸人
清水 陸男
菅原 範明
鈴木 啓正
鈴木 敏朗
鈴木 譲
宗万 裕❖
高木 宏明
高島 芳美
高橋 照美❖
高橋 文子
丹保 冬司夫
綱島 正寛
寺島 喜久男
富岡 良治
内藤 ひろみ
中野 年
中村 園
那須 利雄
並河 典子
西谷内 力世❖
野作 雅章
橋本 宏
橋場 昌枝
浜崎 泰子
早坂 克孝
原 公朗
原 卓徳
原田 和典
原田 真澄
東出 康宏
樋口 厳
日高 昇一
平澤 民義
平本 信夫
廣野 貴之
福士 珠美
福田 淳一
藤田 育伸
船山 喜美子
古澤 正夫
星 健太郎
堀田 康雄
松島 蔦
松田 修
松田 広昭
水口 國雄
三田 修一
水奈月 順子❖
宮川 秀史
村井 馨
森 由美子
森田 茂才
門馬 瑠依
安井 規雄
山川 智
山口 哲男
山崎 正之
山崎 摩耶
山原 正博
湯佐 富治
横峯 昇

【ご来賓】

◆旭川市長……西川 将人様
◆旭川市議会議長……安田 佳正様
◆旭川市総合政策部長……佐藤 幸輝様
◆旭川市税務部長……山口 浩一様
◆大雪カムイミンタラDMO専務理事（旭川市DMO担当部長）……林 良和様
◆旭川商工会議所理事事務局長……川口 勤様
◆旭川観光コンベンション協会副会長……柏葉 健一様
◆旭川地域企業誘致サテライトオフィス所長……白木 義宏様
◆旭川地域企業誘致サテライトオフィス……服部 慎一様
◆大雪カムイミンタラDMO総務部長（旭川市観光課課長補佐）……島 要介様
◆旭川市議会事務局議会総務課……鈴木 賢司様
◆旭川市総合政策部秘書課……篠原 広光様
◆同……間所 真沙美様
◆北海道東京事務所副所長……金澤 克人様
◆北海道ふるさと会連合会会長……新家 鶴男様
◆北海道新聞東京支社編集局長……近藤 浩様
◆同 総務部長……佐藤 哲様
◆サッポロホールディングス㈱コーポレートビジネス部法人営業部シニアマネージャー……安藤 毅様
◆同……井上 成樹様
◆㈱ササキ工芸代表取締役……佐々木雄二郎様
◆同 nocra店長……石島 卓也様
◆旭川中央ケアサポート執行役員事業部長……柏葉 美香様
◆公益財団法人がん研究会有明病院名誉院長……山口 俊晴 先生

【ご協賛・ご協力御礼】

旭川市
旭川市議会
旭川商工会議所
（一社）旭川観光コンベンション協会
㈱旭川振興公社
（一社）旭川物産協会
旭川空港ビル㈱
㈱AIR DO
ハイアットリージェンシー東京
㈱ササキ工芸
男山㈱
サッポロホールディングス㈱
大雪地ビール㈱
今野醸造㈱
㈱福居製飴所
㈱藤井
藤原製麺㈱
北海製麺㈱
㈱米谷産業
山下食品㈱
㈱オーシャン
㈱スノークリスタル北海道
三葉製菓㈱
㈱煎菓亭 鈴木製菓
高橋製菓㈱
㈱壺屋総本店
㈱ロバ菓子司

【ご寄付御礼】（敬称略）

朝比奈康博
阿部 紀彰
荒川 繁
浦城 幾
海老澤 美智子
太田 征
大塚 陽一
大場 孝仁
折登 紀昭
加藤 桂子
川西 勲
菊地 勝昭
小松 仁志
齋藤 弘明
佐坂 秀俊
佐藤 幸博
瀬川 信幸
㈱扇 松園
宗万 裕
高木 宏明
高橋 照美
高橋 文子
竹澤 勝昭
富岡 良治
内藤 裕子
並河 典子
納谷 廣美
西谷内 力世
原 公朗
樋口 厳
平澤 民義
水口 國雄
水留 英昭
三井 尚美
三井 靖広
安井 規雄
山原 正博
若林 りょう

東京旭川会の役員構成

（18年12月1日～20年11月30日）

■会 長 加藤 桂子
■副会長 荒川 繁
海老澤 美智子
大場 孝仁
小松 仁志
並河 典子
山口 哲男
■事務局長 高木 宏明
■常任幹事 三井 尚美
山原 正博
樋口 厳
浅沼 雄太
奥山 好美
柿林 博司
木島 英人
小林 信雄
佐藤 幸博
澤田 研二
杉本 一美
高島 芳美
東出 康宏
宮川 秀史
山川 智
■会計幹事 野作 雅章
■幹 事 安井 規雄
原 公朗
高橋 照美
朝比奈 康博
西谷内 力世
■監 事
■名誉顧問
■顧 問
■相談役

新規会員を募集中！

お友達、お知り合いで「東京旭川会」に関心のある方がいらっしゃいましたら事務局までご連絡ください。会報「ななかまど」と入会のご案内をお送りします。

編集後記

「ななかまど」40号をお届けします。

昨年の総会・懇親会・講演の様子、旭川出身者の活躍、旭川の話題などがビビッドにお伝えできたでしょうか？

毎年のことですが、旭川ラーメンの前に長蛇の列ができます。故郷を離れて何十年も経っているのに、誰しもがやっぱりラーメンと言ったら旭川ラーメンだよねと語り合っています。そんな光景を見るにつけ共通の思いを持つ故郷の仲間って良いものだとしみじみ感じます。

講演では、山口先生が青春時代まで過ごされた平和通りの当時のご実家、山口帽子店をスライドで見せて頂き懐かしく思いました。先生の講演をお聴きして「ガン＝怖い」と目を逸らしがちなものが、将に「己を知り敵を知れば百戦危うからず」という意を強くしました。深刻なテーマにも関わらず楽しくお聴きすることができました。

旭川サテライトオフィス、ホームページなどにより情報が身近になり、若い方たちの活躍を紹介することができ、東京旭川会の活動を通じて新しい出会いが生まれることが楽しみです。

紙面の制約もあり書き尽くせなかったことも多々ありましたが、「ななかまど」が、皆さまが 旭川と東京の距離を超え世代を超えて故郷に思いを馳せる一助となることを願っています。

紙面作成に当たりご協力頂いた皆様にはこの場を借りて改めてお礼申し上げます。

広報チームで改めて頂けるよう頑張りました。今後とも宜しくお願い致します

広報チーム
小松 仁志
並河 典子
高島 芳美
東出 康宏

＊【予告】本年度第44回の総会・懇親会は、10月24日（土）午後5時からの予定です。